

核融合エネルギーフォーラム 第1回全体会合
2007年7月13日
経団連会館・国際会議場

平成19年度「核融合エネルギー奨励賞」 の選考について

調整委員会 委員長
香山 晃

平成19年度「核融合エネルギー奨励賞」

目的

ITERやBAなどに代表される未来の核融合エネルギーの実現に寄与しえる内外の研究開発活動の中で、若手人材による優れた成果を顕彰し、今後の発展のために研究助成(*)

対象

- ① ITERやBAに直接関わる研究開発活動など
- ② 上記以外で核融合エネルギーの実現に必要な研究開発活動、または将来これらの研究開発に寄与すると見込まれる内外の基礎的・基盤的な研究開発活動など
- ③ 長期的な視野に立って核融合エネルギーの実用化に向けたシナリオ作成に寄与する調査研究活動など

選考委員

香山晃(委員長、京都大学)、小川雄一(東京大学)、岡子秀樹(九州大学)、関昌弘(高度情報科学技術開発機構)、野田信明(核融合科学研究所)、福山淳(京都大学)、芳野隆治(日本原子力研究開発機構)

採択(調整委員会)

応募20件の中から、優秀賞2件、奨励賞4件を採択

(*)核融合エネルギーフォーラムの選考にもとづいて原子力機構から配賦

平成19年度「核融合エネルギー奨励賞」 受賞者

優秀賞

小林政弘（核融合科学研究所）

「ITER立ち上げ時のリミター工学設計のための熱負荷データベース作成及びモデルの予測性能の向上」

檜木達也（京都大学）

「先進SiC/SiC複合材料の照射下健全性評価」

奨励賞

小田卓司（東京大学）

「Li酸化物中での水素同位体挙動のモデル化：計算と実験およびミクロとマクロの統合」

糟谷直宏（核融合科学研究所）

「トロイダルプラズマの乱流輸送における二次元構造の研究」

杉山一慶（独マックス・プランク研究所）

「プラズマ対向壁材料への水素同位体蓄積に関する研究」

星野 毅（日本原子力研究開発機構）

「ITER-TBM用先進トリチウム増殖材料の創製」